

かいぼり互版



発行
上尾市役所みどり公園課
https://www.city.ageo.lg.jp/
soshiki/s355000/
編集
認定 NPO 法人 生態工房
http://www.eco-works.gr.jp/

いよいよかいぼり

大池再生への 第一歩！



上尾丸山公園の大池

上尾丸山公園では2019年12月から、大勢のボランティア、地域団体、上尾水辺守、市などの協働によって開園以来初めてのかいぼりが行われる。池の水質改善にとどまらず、在来種の動植物が豊かに息づく荒川流域の美しい水辺景観を再生しようとする先進的な取組だ。

公園のシンボル「大池」がピンチ！

上尾丸山公園（1978年開園）の中核をなす大池が慢性的な水質悪化にあえいでいる。植物プランクトンの藍藻類が増殖する「アオコ」が発生し、カビ臭や景観・水質の悪化を引き起こしているのだ。水温が高くなる夏期には、水中がまったく見えないほどに濁ってしまう。アオコは一般的に左表のような条件で発生しやすいと言われている。大池の環境はこれらの条件とおおむね一致している。



アオコで染まった水面（2019年8月）

アオコが発生しやすい条件

- ①水の滞留時間が長い
- ②栄養塩の流入量が多い
- ③日陰がなく表層水温が温まりやすい
- ④底質が悪化している。

かいぼりまでの道のり

農閑期にため池の水を抜いて池を干し上げる「かいぼり」は、泥を吐き出して貯水量を回復したり、土手や水門を乾かして長持ちさせるための作業だ。近年、かいぼりによる水質改善や外来魚駆除の効果が知られるようになり、こうした課題を抱えている公園でも実施されるようになってきた。上尾市もそのひとつだ。

上尾市は、大池の水質改善についてさまざまな方策を検討していく中で、議会からも提案を受けてかいぼりに注目した。そしてかいぼりによる自然再生の成功例として知られている都立井の頭恩賜公園の事例を調査し、その方法をモデルとしている。2月にはかいぼりの専門家や実務経験者を招いたシンポジウムを開催して市民と共にかいぼりへの理解を深めた。8月からはボランティア「上尾水辺守」の研修を開始。かいぼりイベントの当日ボランティア「おさかな連」も募集して、かいぼりを軸とした大池の自然再生に向けて準備を進めてきた。

12月の2日間、大勢の参加者や見学者を迎えていよいよ上尾丸山公園大かいぼり祭が行われる。大池再生の第一歩が、ここから始まる。

かいぼりは自然再生の始まり

都立井の頭恩賜公園ではかいぼりによって澄んだ池水がよみがえったが、かいぼりの効果はこれにとどまらない。水中に光が届くようになり、絶滅したと思われていたイノカシラフラスコモが再生したほか、ヌカエビや淡水魚のオイカワなど、かいぼり前にはほとんど確認されなくなっていた在来種が復活している。水草が群生する様子が報道され、クロード・モネの絵画「睡蓮」のような美しさだと話題になった。

上尾丸山公園でも、かいぼりの際に岸辺の一部に市民参加で浅場をつくって動植物の生息環境の整備を予定するなど、協働によって自然に親しむことができる公園を目指していく。これからの大池の変化を楽しみにしてほしい。

大池での生息に期待がかかる在来種たち



カイツブリの親子



チョウトンボ



かいぼり後に「モネの池」と呼ばれた井の頭池の景観。大池でも再現したい！

どーんと開催!

大かいぼり祭

めざせ!大池再生

みずべもり通信

大池かいぼりを機に公募されたボランティア『上尾水辺守』が活動をスタートしています。この名称は、古来、ため池を管理する役職が池守(いけもり)と呼ばれていたのになんだもの。かいぼりを軸とした大池の水辺再生を市と協働で担っていくパートナーです。7月に公募され、座学や野外実習など全5回の研修を修了した18名が登録しています。11月には大池に先んじて、上流側のアヒル池でかいぼりデビュー。大池かいぼりに備え、作業を体験してイメージをつかみました。

大かいぼり祭では、一般参加の市民やさまざまな団体と協力してイベントを成功させようと楽しみにしています。活動中の上尾水辺守を見かけたら、大池再生への期待を込めて応援してください!



おさかな連

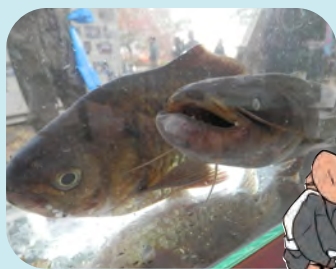
排水された池にボランティヤが入り、外来魚の捕獲や在来魚の引越し作業をするイベント。募集枠120名のところ、180名まで受入枠を増やして対応している。定員超過のため参加できなかった人も、大池再生のために岸から声援を送ってほしい。



上尾丸山公園としての初のかいぼりが、『大かいぼり祭』として開催される。大池再生に向けての記念すべき2日間の見どころを紹介する。

テントブース会場

上尾市内などの環境団体・地域団体による展示コーナー。かいぼりでの採れたての生きものの展示や、あったまる飲食コーナーも!



何が捕れるかな?

開催日: 令和元年12月21日(土)、22日(日)
 ※雨天決行
 時間: 9時30分から15時30分
 入場無料、見学自由。

まだまだ続くよ

池干し祭

魚を採った後は干し上げ期間に入ります。干し上げ中も企画が盛りだくさん。3月までかいぼりを堪能しましょう。

浅場作り 当日作業ボランティア

「泥かき連」

今の池は、岸から急に深くなっていてマコモやガマなどの抽水植物が生育できません。池底の泥を岸に寄せて浅場を整備し、生きものが豊かな池を目指します!

開催日: 2月9日、2月15日、2月29日

10時から12時30分(受付9時30分がち、自然学習館にて)

各回40名(当日先着順)
 小学生以上(小学生は保護者同伴)



池底観察会

「本当のかいぼりを知ろう! 大池探検ツアー」

干し上げ中の大池を歩きましょう。泥の感触はどんなかな? 湧水は見つかるでしょうか。

開催日: 1月12日、2月1日、3月14日

13時30分から15時
 (受付: 自然学習館にて)

13時から
 各回40名(当日先着順)
 3才以上(小学生以下は保護者同伴)



上尾丸山公園は池干し期間中も毎日開園しています。干し上がった大池を見るチャンス! 浅くなるとカモやサギが飛来するかも☆



詳しくは上尾市みどり公園課ホームページをご覧ください

